

第1回 大阪スーパーシティ協議会 会議要旨

1 日 時 令和4年6月14日(火) 11:00~11:45

2 場 所 大阪市役所本庁舎5階特別会議室

3 出席者

吉村 洋文 大阪府知事
松井 一郎 大阪市長
松本 正義 公益社団法人 関西経済連合会 会長
立野 純三 大阪商工会議所 副会頭
生駒 京子 一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事
竹内 廣行 公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 副事務総長
木村 透 三菱地所株式会社 執行役常務(うめきた2期開発事業者JV代表企業)

《事務局》

坪田 知巳 大阪府 CIO 兼スマートシティ戦略部長
鶴見 一裕 大阪市 CIO 兼デジタル統括室長
川平 眞善 大阪府スマートシティ戦略部スマートシティ推進監
森山 文子 大阪市デジタル統括室スマートシティ推進担当部長

4 議 題

- (1) 今後のスーパーシティ協議会の進め方について
- (2) その他

5 議事要旨

- (1) 事務局から「大阪スーパーシティ協議会規約(案)」及び「今後のスーパーシティ協議会の進め方について」を説明し、了承された。
- (2) 意見等の概要は次のとおり。
 - ・ 大阪広域データ連携基盤 ORDEN の活用により、住民の QoL 向上と、都市競争力の強化に繋げていくことを、計画にしっかり盛り込んでいく。
 - ・ スーパーシティの制度を活用することで、さまざまな規制の壁を突破し、大阪で先端的なサービスの実装の展開を期待する。
 - ・ 先端的サービスを実施するメインプレイヤーは民間事業者であり、民間が使い易い仕組みを作っていくことが大事。
 - ・ 夢洲コンストラクションにおける複数分野のデータを有機的につなぐデータ連携基盤や規制緩和について、府市や関係事業者と一体となって進めていく。

- ・ スーパーシティの意義について多くの企業へ理解促進を図る。
- ・ 未来の健康と医療のあり方、MaaS、コモングラウンドなどのこれまでの取組みを基に、さらに企業の参画を得て、新たなプロジェクトの創出につなげていく。
- ・ 万博のテーマにも掲げる「いのち」にフォーカスすることは重要。
- ・ 「大正の御堂筋」に取り組んだ先人に倣い、今後のメガトレンドを見据え、将来において「令和のスーパーシティ構想」と言われるように取り組んでいく。
- ・ 万博の成功に向けて、各項目について関係団体と連携して取り組み・検討してきた。スーパーシティ協議会の発足を契機に、検討の加速を期待する。
- ・ 万博サービスと ORDEN との連携等、「データ活用」は新たな会議体で検討予定。特に MaaS において万博時の混雑解消に資する OSAKA ファストパスの検討に期待。
- ・ うめきた 2 期のグリーンフィールドの特性を生かして、大阪でしかできない新しい技術やイノベーションにつながる取組みを進めていく。
- ・ うめきたエリアの先進的な取組みを実現するため、官民連携で進めていきたい。

6 会議資料

- (1) 次第
- (2) 出席者名簿
- (3) 大阪スーパーシティ協議会規約（案）
- (4) 資料 1-1 大阪府・大阪市スーパーシティ構想（抜粋）
- (5) 資料 1-2 今後のスーパーシティ協議会の進め方について